

# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
**335 生活衛生安全推進事業(建築物衛生環境)**

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	1	衛生管理等の促進と監視の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		環境衛生費	
	大事業		環境衛生事業	
事項		生活衛生安全推進事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	建築物における衛生的環境の確保に関する法律		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻村 光司 (488-5113)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	多数の者が使用し、又は利用する建築物（特定建築物）における衛生的な環境の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に資すること	全ての特定建築物において衛生的な環境が確保されるよう書類調査及び立入調査を実施し口頭及び書類指導を行う。 特定建築物とは、興行場、百貨店、店舗、事務所、学校等の相当規模を有する建築物をいう。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		監視対象施設数 特定建築物 124件 監視数 116件 監視率 93.5%	監視対象施設数 特定建築物 128件 監視数 99件 監視率 77.3%	監視対象施設数 特定建築物 128件 監視数 件 監視率 %		

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	321	307	320	265	327		327		327		
	伸び率 (%)	-	-	-0.3%		2.2%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	2,880	3,258	3,255	3,495	3,492		3,492		3,492	
		非常勤職員	201	724	724	282	282		282		282	
		小計	3,081	3,982	3,979	3,777	3,774		3,774		3,774	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	0	0	0	0	0		0		0		
	一般財源(税等)	321	307	320	265	327		327		327		
	所要人数	常勤職員	0.39	0.44	0.44	0.47	0.47		0.47		0.47	
非常勤職員		0.10	0.34	0.34	0.13	0.13		0.13		0.13		
主な予算内訳												

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	監視数					年度目標値	124	128	128	128	128
						実績値	116	99			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	93.5%	77.3%			
						年度目標値					
					実績値						
				年度別達成度							
成果指標	監視率 (監視数/全体数)					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度目標値	100	100	100	100
							実績値	93.5	77.3		
					年度別達成度	93.5%	77.3%				
					年度目標値						
					実績値						
				年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	近年、大型化した商業施設が増加し、対象施設である特定建築物が増加している。職員が不足しているが業務分担に配慮し監視・指導を行う。
「見直し」 「改善」案	